

◇令和3年度事業計画

1. 松井地区諸事業の継承
2. 松井地区文化歴史遺産・自然環境遺産認定事業
3. 松井地区の自治力、交流力向上事業
4. 松井地区住民のための共助、共育、共学、共遊、協働事業
5. 松井まちづくり協議会広報紙「まついむら」発行事業（年3回）
6. 定期総会、役員会、広報委員会、部会等の開催
7. その他必要な事業

各事業の具体的な内容等については、役員会で決定していきます。



遺産めぐりバスツアー

◇令和3年度予算

（単位：円）

＜収入の部＞

項目	予算額	説明
繰越金	1,294,803	前年度繰越金
会費	451,160	11,279世帯×40円
交付金	1,200,000	地域づくり協議会 活動支援交付金
参加費収入	300,000	新年祝賀会
雑収入	37	預金利子など
収入合計	3,246,000	

＜支出の部＞

事業名	予算額	説明
広報紙発行	300,000	3回
遺産認定事業	300,000	
M級グルメ	200,000	
協議会啓発事業	400,000	
夏季交流懇談会	0	
主催共催事業	660,000	
総会費	150,000	資料代ほか
会議費	50,000	資料代ほか
部会費	50,000	資料代ほか
渉外参加費	50,000	役員研修参加費 助成
事務費	90,000	コピー用紙代 ほか
予備費	996,000	
支出合計	3,246,000	

コロナ禍で分断された

地域コミュニティー

地域力で紡ぎ直そう！

夏季セミナー

定期総会終了後、夏季セミナーが開催されました。

今回のテーマは『海洋プラスチック問題とプラスチックごみについて～マチごとプラスチックごみ削減』で、夏季セミナーとして初めて環境問題が取り上げられました。

また、参加者には関連啓発グッズ（標語・協議会ネーム入りエコバッグ）も配布されました。

現在、海へ大量に流出するプラスチックが生体系に与える影響や、日々廃棄される膨大な量のプラスチックごみの処理不全は、世界的に大きな問題となっています。

それらの実態や所沢市における対策、個人でできる身近な取組みなどについて、市の環境クリーン部資源循環推進課職員が豊富な映像資料を用いてわかりやすく解説しました。

とりわけ印象的だったのが、プラスチックを食べて死んでしまった動物たちの映像で、参加者からは「かわいそう」「ショッキング。

だ」といった声も聞かれました

なお、終了後に回収したアンケートに記載されていた主な感想は、次のとおりです。

- ・マイバッグやマイボトルの利用でプラごみ排出を少しでも減らせるとよい。
- ・プラごみの輸出で他国に迷惑をかけたくない。
- ・ペットボトルの飲物は極力買わないようにしたい。
- ・再利用できるよう、マヨネーズ容器も洗って出すようにしたい。
- ・ビンなどのリユースに努めたい
- ・リサイクルの有効化のため、ゴミの分別をしっかりと見直したい。

「大きな問題を前に、今できることから始めよう」というメッセージが十分に伝わるセミナーとなりました。



講義する市職員